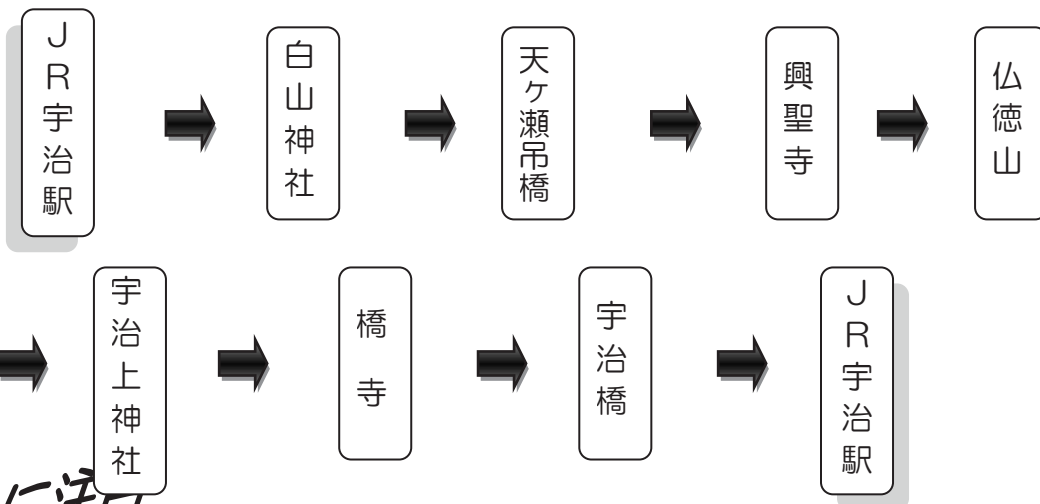


おすすめポイント

文化センターと歴史資料館がある丘陵の閑静な住宅地を抜け、急坂を下ると白川の里、平等院の奥の院といわれたこの地に、九百年前に四条宮寛子によって建立されたと伝えられる金色院の遺跡が茶園の下に眠っている。樹齢数百年の名木に囲まれた白山神社が、この地を守っている。ここから四季を通して美しい溪谷のもみじ谷の小道をぬけると山の緑を川面にうつす宇治川、吊橋を渡り川沿いの散歩道、仏徳山（大吉山）の展望台からは今歩いてきたところが宇治川の彼方に緑に包まれて望めます。



ここに注口



●琴坂（興聖寺）

石の総門をくぐって興聖寺の山門（竜宮門）へと向かう約 200m の坂道。昔の人は両脇の流れに琴の音を感じたのでしょうか。その流れに、沢蟹が戯れている。



●白山神社拝殿（重要文化財）

樹齢数百年の名木に囲まれた、寺川の流れの源にたたずむ白山神社拝殿。鎌倉時代の拝殿は、全国的にも数少なく、茅葺屋根が美しい曲線を描く。

